

国土交通大臣 金子 恭之 様

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）  
連続立体交差事業の推進に関する要望書

令和7年12月19日

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）  
連続立体交差事業促進連絡協議会

## 東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近） 連続立体交差事業の推進に関する要望書

平素から、墨田区における公共交通網の整備をはじめ、地域の発展に対しまして、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業は、国をはじめ関係各位の多大なるご尽力により平成29年6月に事業認可をいただき工事着手し、令和4年11月には上り線を、令和7年3月には下り線を高架化し、地域の長年の悲願であった踏切の除却を達成することができました。

一方で、本事業は現在も留置線高架橋や駅舎の工事が継続中であり、これらの工事が完了しなければ関連街路の工事に着手することができません。連続立体交差事業の効果を最大限に発揮するためには、関連街路の整備が不可欠であることから、早期の事業完了が必要となります。

連続立体交差事業の推進により、踏切による交通渋滞や事故の解消はもとより、長年の地域分断の解消並びに周辺市街地の更新が加速し、安全で安心なまちづくりが一層促進されます。今後は、このような地域の高まる機運に応じて、沿線地域のまちづくりを精力的に進めていく所存です。

さらに、東京スカイツリーを中心とする当地区は、首都東京の玄関口にふさわしい観光拠点としての整備を図ることにより、我が国の目指す「観光立国」の実現に大きく寄与するとともに、地域経済の活性化にも顕著な波及効果をもたらすものと考えております。

つきましては、国におかれましては、国際観光拠点としての当地区の特性と重要性をご理解いただき、快適な交通環境の整備と首都東京の防災対応力の強化を目指した本連続立体交差事業の円滑な推進に向け、予算の確保について、特段のご配慮を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和7年12月19日

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）  
連続立体交差事業促進連絡協議会

会長 山本 亨